

# 平成28年4月16日 熊本県熊本地方の地震 を引き起こした活断層 (地表地震断層)

## ●説明者

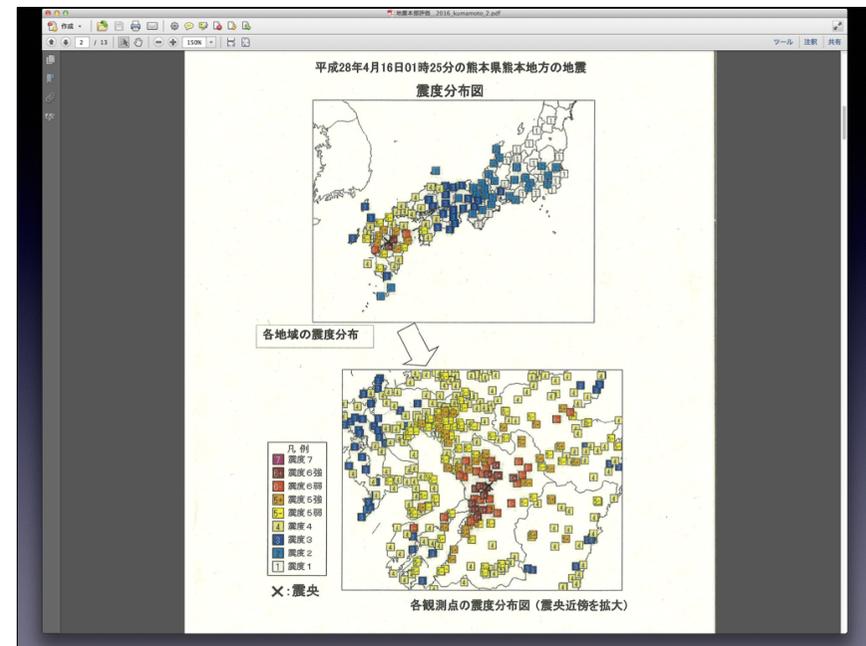
後藤秀昭 (文学研究科地表圏システム学講座・准教授)  
熊原康博 (教育学研究科社会認識教育学講座・准教授)

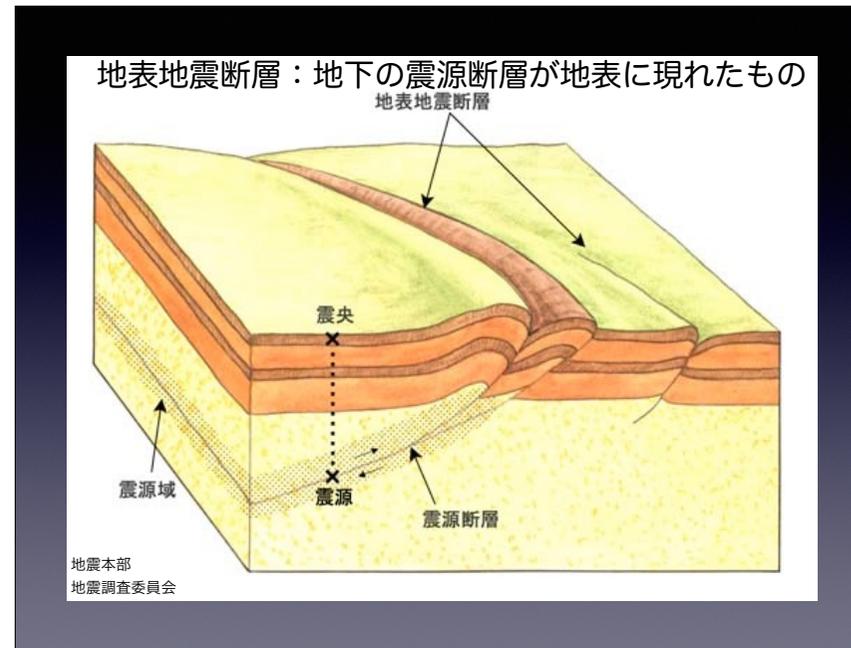
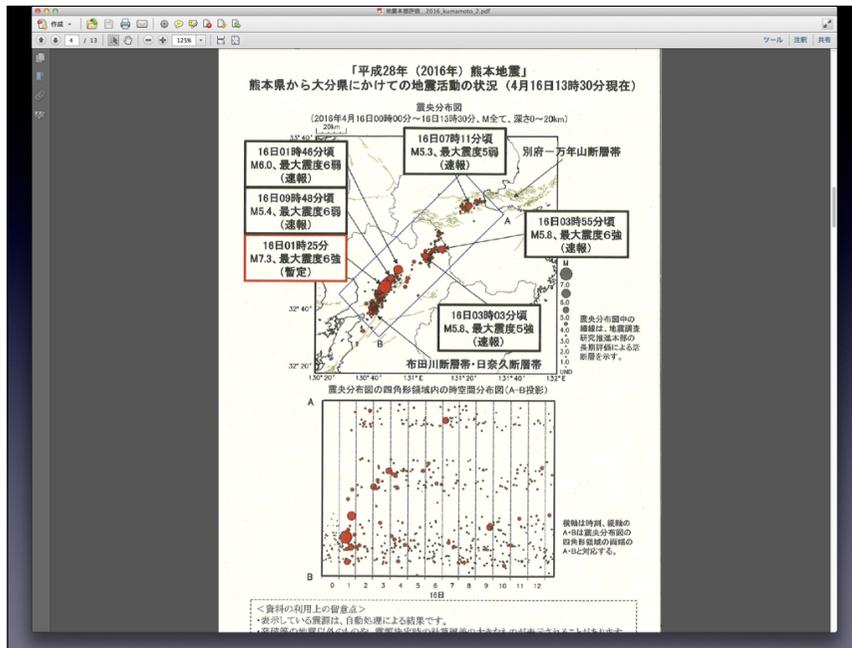
- 4月14日 (木) 9時26分発生 of M6.5の地震を受け、15日朝、熊本に向け出発。
  - 中田 高 (なかた たかし・広島大学 名誉教授)
  - 後藤秀昭 (ごとうひであき・文学研究科地表圏システム学講座・准教授)
  - 熊原康博 (くまはらやすひろ・教育学研究科社会認識教育学講座・准教授)
- 15日 (金) 布田川断層での明瞭な変位がないことを確認
- 15日 (金) -16日 (土) 熊本市内のホテルに宿泊時にM7.3の地震に遭う
- 16日 (土) 早朝から布田川断層の現地調査を実施

平成28年4月17日  
地震調査研究推進本部  
地震調査委員会

### 平成28年4月16日熊本県熊本地方の地震の評価

- 4月16日01時25分に熊本県熊本地方の深さ約10kmでマグニチュード(M)7.3(暫定値)の地震が発生した。この地震により熊本県で最大震度6強を観測し、被害を生じた。この地方では、4月14日21時26分に深さ約10kmでM6.5(暫定値)の地震が発生し、熊本県で最大震度7を観測していた。地震活動は活発であり、北東-南西方向に延びる長さ約30kmの領域の他、その延長の熊本県阿蘇地方や大分県などの周辺域で発生している。
- この地震の発震機構は南北方向に張力軸を持つ横ずれ断層型で、地殻内の浅い地震である。この地震の余震分布と発震機構から推定される震源断層は、北東-南西方向に延びる右横ずれ断層であった。
- この地震に伴い、熊本県内のKiK-net 益城観測点で1362gal(三成分合成)など、大きな加速度を観測した。
- GNSS観測の結果によると、この地震の発生に伴って、熊本県内の長陽観測点が南西方向に約97cm(暫定値)移動するなどの地殻変動が観測されている。
- この震源域付近には布田川断層帯が存在している。現地調査の結果によると、布田川断層帯の布田川区間などで地表地震断層が見つかった。この地震は、主に布田川断層帯の布田川区間の活動によると考えられる。地震調査委員会は布田川断層帯(布田川区間)について、活動時にM7.0程度の地震が発生する可能性があり、30年以内の地震発生確率はほぼ0%~0.9%(やや高い)と評価していた。なお、布田川断層帯を含む九州中部の区域では、M6.8以上の地震の発生確率は18~27%と評価していた。





地表に現れた断層が積み重なると  
大きなずれに  
特異な地形 **【変位地形】**  
変位地形から**活断層**を探す

最近の地質時代に繰り返し活動し、  
近い将来に活動する可能性の高い断層

活断層

活断層

地震本部  
地震調査委員会

横ずれ断層による地形

- ・直線状の谷
- ・河谷のずれ
- ・谷底の平野の切断

地震本部  
地震調査委員会

活断層データベース 起震断層・活動セグメント検索[GoogleMaps版]

トップ / 検索入口 / 起震断層・活動セグメント検索[GoogleMaps版]

西日本：横ずれ断層  
が多数分布

産業技術総合研究所  
「活断層データベース」

活断層データベース 起震断層・活動セグメント検索[GoogleMaps版]

トップ / 検索入口 / 起震断層・活動セグメント検索[GoogleMaps版]

北東南西：横ずれ断層  
東西：正断層

産業技術総合研究所  
「活断層データベース」

国土地理院 地理院地図

「都市圏活断層図」整備範囲

国土地理院  
都市圏活断層図「熊本」

ID 123  
 名称 熊本  
 長さ 6.5km  
 種別 活断層  
 公開年 平成13年12月  
 調査者 国土地理院、千原 昇、中田 高、倉田平太郎、徳力正輝、栗沢博司  
 資料番号 国土地理院 D1-No.388  
 主な断層帯 熊本市内  
 作成委員会 都市圏活断層図作成調査検討委員会  
 利用する権 国土地理院、千原 昇、中田 高、倉田平太郎、徳力正輝、栗沢博司 (2001)  
 台の記録簿 1:25,000都市圏活断層図「熊本」 国土地理院技術資料 D1-No.388